

ずっと住み続けたい！
しなやかにささえ合う“大戸だけ”の魅力あふれるまちづくり

第2次 大戸・地域づくりビジョン

令和5（2023）年度～令和8（2026）年度



令和5（2023）年4月20日

大戸まちづくり協議会

目次

1. ビジョン策定の目的	1 P
2. 地区の概要（地域カルテ）	2 P
3. 第1次ビジョンの振り返り・総括	8 P
4. 第2次ビジョンの趣旨	10 P
5. 第2次ビジョンの期間	11 P
6. 地域づくりのテーマ・基本目標	11 P
7. 組織体制	12 P
8. 分野別目標・活動の柱	13 P
9. 活動領域・活動内容・スケジュール	15 P

1. ビジョン策定の目的

大戸地区は、会津若松市の南部に位置する山間地域です。会津若松市に編入された 1955 年（昭和 30 年）当時から人口は 3 割弱（3,899 人（S30）→1,329 人（R4.4））まで減少し、高齢化や若年層の減少により、地域活力の低下が懸念されています。

そうした地域の課題に対応するために、これまでの取組を活かしながら、大戸地域の自慢と誇りを発見し、地域の課題を解決するために考え、実践することを通して、地域住民の福祉の増進、産業の振興、生活文化の振興等に寄与すると共に、協働による地域づくりを推進していくため、地区区長会が中心となり、各種団体等との連携のもと、令和 2 年 6 月 30 日に大戸まちづくり協議会が設立され、令和 3 年 3 月に「第 1 次大戸・地域づくりビジョン（以下「第 1 次ビジョン」という）」を策定しました。

令和 4 年度には、第 1 次ビジョンの計画期間が終了となることから、第 1 次ビジョンの評価・振り返りのほか、組織の法人化や地区社会福祉協議会化、大戸小・中学校の小規模特認校化といった状況の変化も踏まえ、この第 2 次大戸・地域づくりビジョン（以下「第 2 次ビジョン」という）を策定しました。

協議会の目的（大戸まちづくり協議会定款第 3 条）

（目的）

第 3 条 この法人は、広く地域活動を振興し、地域住民に対し会津若松市大戸地区において、「ずっと住み続けたい！しなやかにささえ合う“大戸だけ”の魅力あふれるまちづくり」という地域づくりのテーマのもと、身近な地域課題を話し合い、地域の自慢と誇りを発見し、地域の課題を解決するために考え、実践することを通して、地域住民の福祉の増進、産業の振興、生活文化の振興等に寄与すると共に、協働による地域づくりの推進を目的とする。

地域づくりビジョンは、上記のような協議会の目的を達成するために、地域の特性を知り、取組の方向性や実践方法を定め、地域全体で共有し、効果的に進めていくことを目的として策定しています。

<第 2 次ビジョン策定経過>

令和 2（2020）年 6 月 30 日	大戸まちづくり協議会設立
令和 3（2021）年 3 月 31 日	第 1 次ビジョン策定
令和 4（2022）年 12 月 1 日	第 8 回定例会（第 1 次ビジョンの評価・振り返り）
令和 5（2023）年 1 月 12 日	第 9 回定例会（第 1 次ビジョンの評価・振り返り）
2 月 2 日	第 10 回定例会（第 2 次ビジョンの検討）
3 月 9 日	第 11 回定例会（第 2 次ビジョンの検討）
3 月 28 日	役員会（素案の確認）
4 月 20 日	NP0 法人総会（第 2 次ビジョンの承認）

2. 地区の概要（地域カルテ）

（1）地区の概要

ア 地理

大戸地区は、福島県会津若松市の南部、下郷町に接する南の玄関口に位置する地域です。一級河川阿賀川（大川）が地域を南北に流れ、会津若松市の最高峰である大戸岳などの山々を擁し、地域の大部分が山林で、森林や水資源に恵まれています。

標高は約 299m（大戸公民館（上三寄））で、市街地よりも 90m 以上高地にあり、夏は冷涼で冬は豪雪の気候です。7つの地域（雨屋・上三寄・上小塩・芦牧・大川・高川・小谷）内の 14 の町内会で構成されています。

①雨屋（石村・下雨屋・宮内・上雨屋）

②上三寄（南原・香塩・大豆田）

③上小塩（上小塩）

④芦牧（芦ノ牧）

⑤大川（舟子・桑原）

⑥高川（閤川・黒森）

⑦小谷（小谷）

地区の中心を国道 118 号線が南北に通っており、公共交通機関は会津乗合自動車の路線バス（芦ノ牧線）と会津鉄道（あまや駅、芦ノ牧温泉駅、大川ダム公園駅、芦ノ牧温泉南駅）が運行しています。

イ 地区ごとの概要

①雨屋（石村・下雨屋・宮内・上雨屋）

大戸町北部の地区で、門田町と接している。国道 118 号と広域農道が地区を縦貫しており、会津鉄道あまや駅がある。地区の西側を阿賀川が流れ、東側は山地になっている。区画整理された農地が広がり、果樹栽培も行われている。

②上三寄（南原・香塩・大豆田）

大戸町中部の地区で、国道 118 号と広域農道が地区を縦貫しており、会津鉄道芦ノ牧温泉駅がある。地区の西側を阿賀川が流れ、東側は山地になっている。区画整理された農地が広がり、地区内に大戸公民館（大戸市民センター）、市立大戸小学校、市立大戸中学校、駐在所、郵便局、ガソリンスタンド、飲食店、商店がある。

③上小塩（上小塩）

大戸町中部の地区。会津鉄道が地区を縦貫するように通る。地区の西側を阿賀川が流れ、東側は山地になっている。山地と川の間に集落、農地がある。

④芦牧（芦ノ牧）

大戸町南部の地区で、国道 118 号が地区を縦貫し、阿賀川が流れている。路線バス芦ノ牧線の終着点。地区北側は芦ノ牧温泉街で、温泉街の南側に本村集落が、集落の川を挟んだ南側の山中に農地がある。医療機関や介護老人福祉施設、金融機関、郵便局、飲食店、商店がある。

⑤大川（舟子・桑原）

大戸町南部の地区で、会津鉄道が地区西部を縦貫するようになり、大川ダム公園駅、芦ノ牧温泉南駅がある。地区の西端に大川ダムがあり、若郷湖の西側約半分も当地区に属している。地区の東部は山地になっている。

⑥高川（閤川・黒森）

大戸町東部の地区。山地が広がり、幹線道路から 5km 以上山道を入ったところに両集落があり、集落の周りに農地がある。大戸岳、本元飯豊山がある。

⑦小谷（小谷）

大戸町西部の地区。国道 118 号が地区を縦断するように通るほか、地区の東側には阿賀川が流れる。地区北側には社会福祉施設があり、芦ノ牧地区と接する南部には温泉施設、飲食店、コンビニエンスストアがある。

ウ 歴史

大豆田の本能原遺跡は縄文時代のもので、大戸町には古代から人が住んでいました。また、香塩、南原、上雨屋、宮内、下雨屋の 5 地区に分布する県指定文化財大戸古窯跡群は、古代と中世にかけて操業した窯跡で、東日本最大規模の窯跡群です。

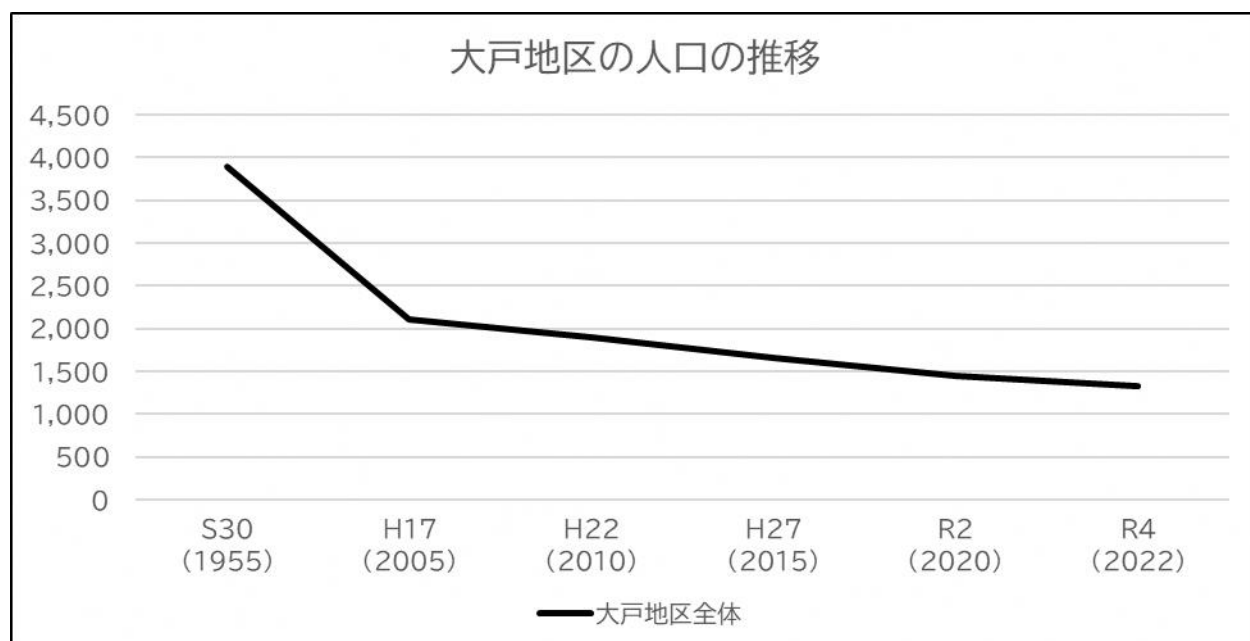
江戸時代中期には会津中街道が地区内を通り、香塩宿・小塩宿・桑原宿が宿場町として栄えました。

エ 人口構成

会津若松市に編入された 1955 年（昭和 30 年）当時から人口は 3 割弱（3,899 人（S30）→1,329 人（R4.4））まで減少し、高齢化（高齢化率 52.6%）や、若年層の減少が懸念されています。

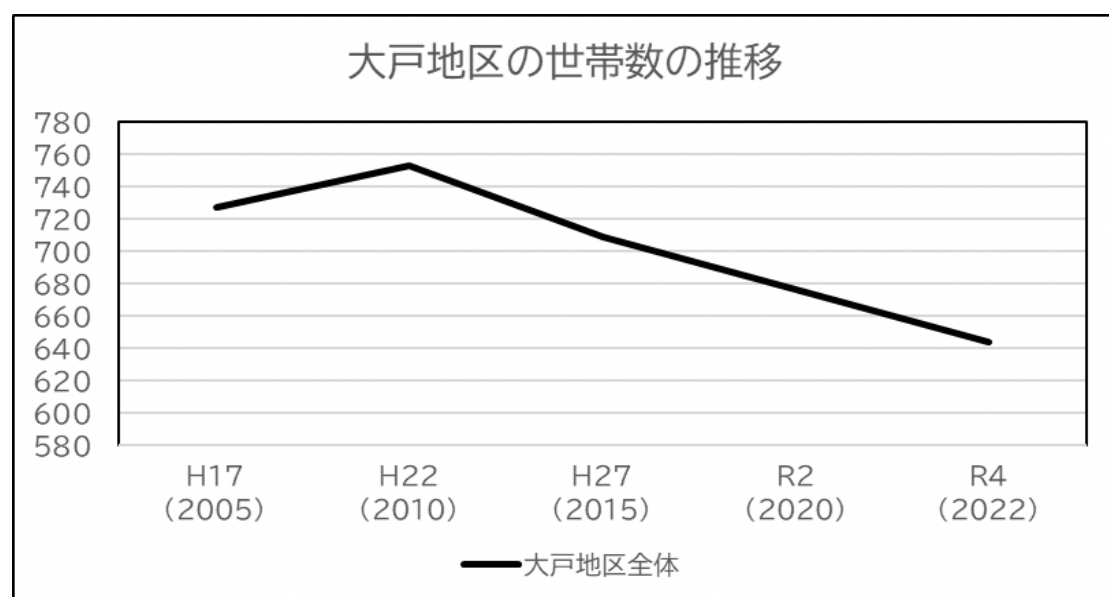
①人口（各年 4 月 1 日現在）

（各年4/1人口）	S30 (1955)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R4 (2022)
市全体	97,885	131,437	126,623	122,764	117,329	114,639
大戸地区全体	3,899	2,112	1,903	1,657	1,444	1,329
石村	-	71	68	55	47	44
下雨屋	-	85	76	68	56	54
宮内	-	63	56	47	37	34
上雨屋	-	132	129	110	108	75
南原	-	123	101	85	79	73
香塩	-	345	296	274	245	216
大豆田	-	284	236	196	166	153
上小塩	-	159	138	127	83	96
芦牧	-	382	364	321	289	272
大川	-	96	90	79	67	65
高川	-	202	169	138	109	99
小谷	-	170	180	157	158	148



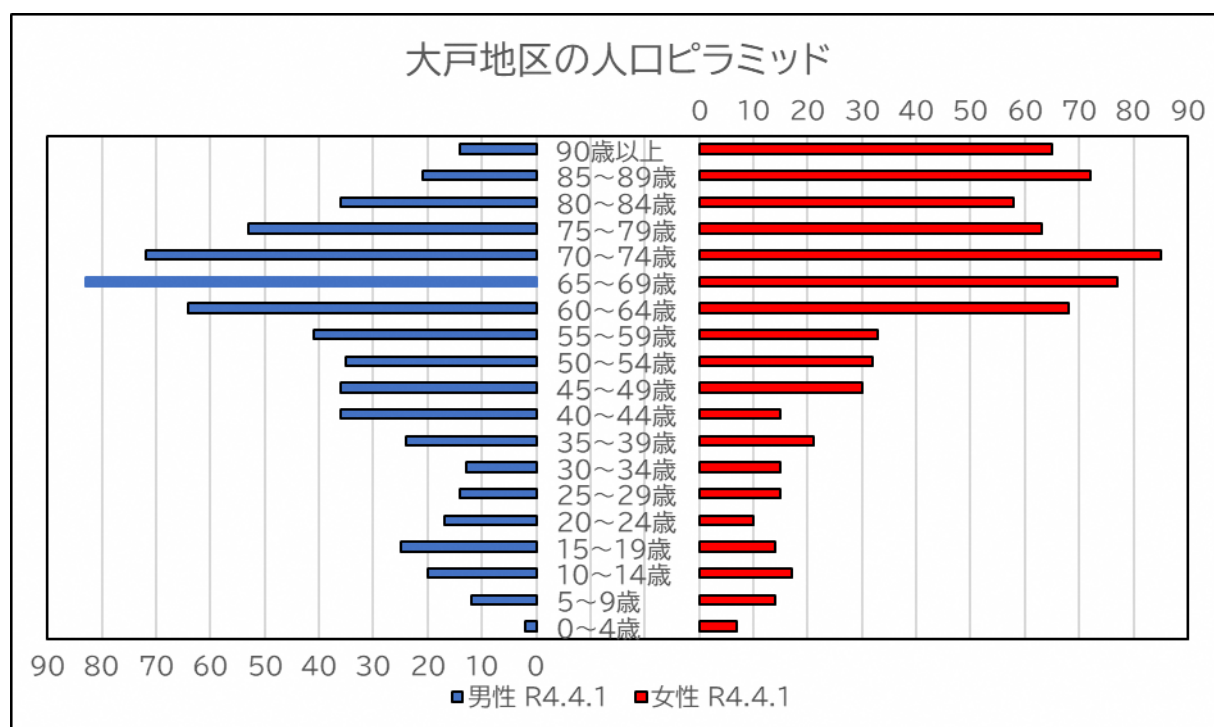
②世帯数（各年4月1日現在）

（各年4/1世帯）	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R4 (2022)
市全体	48,590	49,537	50,645	51,750	52,016
大戸地区全体	727	753	709	676	644
石村	25	22	22	21	20
下雨屋	29	29	30	24	24
宮内	17	19	21	15	14
上雨屋	38	38	35	38	30
南原	40	39	35	36	35
香塩	103	101	94	95	88
大豆田	86	88	85	76	72
上小塩	41	46	42	34	34
芦牧	212	204	191	178	171
大川	26	28	28	29	28
高川	55	56	48	47	45
小谷	55	83	78	83	83



③年齢別人口

(年齢別)	男性		女性		計		割合	
	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1
0～4歳	9	2	10	7	19	9	1.3%	0.7%
5～9歳	14	12	17	14	31	26	2.1%	2.0%
10～14歳	26	20	14	17	40	37	2.7%	2.8%
15～19歳	25	25	15	14	40	39	2.7%	2.9%
20～24歳	12	17	25	10	37	27	2.5%	2.0%
25～29歳	17	14	18	15	35	29	2.4%	2.2%
30～34歳	22	13	22	15	44	28	3.0%	2.1%
35～39歳	27	24	24	21	51	45	3.4%	3.4%
40～44歳	41	36	26	15	67	51	4.5%	3.8%
45～49歳	30	36	25	30	55	66	3.7%	5.0%
50～54歳	46	35	36	32	82	67	5.5%	5.0%
55～59歳	55	41	50	33	105	74	7.1%	5.6%
60～64歳	88	64	79	68	167	132	11.3%	9.9%
65～69歳	80	83	86	77	166	160	11.2%	12.0%
70～74歳	69	72	74	85	143	157	9.7%	11.8%
75～79歳	57	53	60	63	117	116	7.9%	8.7%
80～84歳	33	36	76	58	109	94	7.4%	7.1%
85～89歳	27	21	64	72	91	93	6.1%	7.0%
90歳以上	9	14	72	65	81	79	5.5%	5.9%
計	687	618	793	711	1,480	1,329	100%	100%



※大戸地区の人口ピラミッドは、60代～70代が多く、40代以下が少ない構図になっています。

④地区別の高齢者人口・高齢化率

(地区別高齢化率)	65～74歳		75歳以上		65歳以上合計		65歳以上割合		75歳以上割合	
	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1	R2.4.1	R4.4.1
大戸地区全体	309	317	398	382	707	699	49.0%	52.6%	27.6%	28.7%
石村	9	14	14	12	23	26	48.9%	59.1%	29.8%	27.3%
下雨屋	19	15	15	22	34	37	60.7%	68.5%	26.8%	40.7%
宮内	11	11	11	8	22	19	59.5%	55.9%	29.7%	23.5%
上雨屋	13	16	22	16	35	32	32.4%	42.7%	20.4%	21.3%
南原	22	21	19	21	41	42	51.9%	57.5%	24.1%	28.8%
香塩	51	56	60	55	111	111	45.3%	51.4%	24.5%	25.5%
大豆田	34	35	54	44	88	79	53.0%	51.6%	32.5%	28.8%
上小塩	20	24	28	21	48	45	57.8%	46.9%	33.7%	21.9%
芦牧	42	44	109	106	151	150	52.2%	55.1%	37.7%	39.0%
大川	16	11	22	25	38	36	56.7%	55.4%	32.8%	38.5%
高川	32	30	20	23	52	53	47.7%	53.5%	18.3%	23.2%
小谷	40	40	24	29	64	69	40.5%	46.6%	15.2%	19.6%

⑤地区別の高齢者世帯数・独居高齢者世帯数・空き家件数（地域情報シートより）

(地域情報シート)	高齢者世帯数		独居高齢者世帯数		空き家件数	
	R1.4.1	R4	R1.4.1	R4	R1.4.1	R4
大戸地区全体	185	212	63	76	28	75
石村	5	8	3	5	4	6
下雨屋	14	14	3	3	2	2
宮内	7	6	4	5	0	1
上雨屋	14	14	3	3	2	7
南原	5	5	6	6	-	4
香塩	31	53	8	8	7	16
大豆田	21	14	8	13	4	11
上小塩	6	10	5	5	4	10
芦牧	44	44	14	14	4	4
舟子	7	2	1	1	1	1
桑原	9	6	2	4	0	0
闇川	9	8	4	8	-	12
黒森	0	0	0	0	0	1
小谷	13	28	2	1	0	0

3. 第1次ビジョンの振り返り・総括

第1次ビジョンの期間中、3つの分野（部会）と、部会の枠を超えて協議会全体で取り組むものでそれぞれ分野別目標・活動の柱・活動領域・具体的な取組を定めて活動を展開してきました。

■事業評価について

- ・第1次ビジョンの活動領域ごとに各部会で行った事業評価の内容を、役員会で協議し意見を付しました。

平均評価点 3.6点（5点満点）

■部会ごとの評価まとめ

◆産業部会

分野別目標：にぎわいがあり、かぐや姫に会えるまちづくり

活動の柱：○地域で産品を販売し、買い物&飲食ができる場所を作る

○地域内に雇用を創出する

○交流人口づくり（自然資源・空き家等遊休施設の活用・文化歴史の掘り起こし）

○移住受入の推進

評価平均点：3.6点

主な事業：・大戸マルシェ（R2～R4で計4回開催、計約90万円の売上）

・竹活用事業（R2～R4で様々な取組を実施：竹灯籠づくり、竹炭づくり等）

・地場産品開発事業（ハックルベリージャム開発、ねこのて製品づくり）

意見等：竹を活用した様々な取組を行い、地場産品の開発や、ねこのての活動につなげることができた。また、地場産品の販売の場としてマルシェイベントを開催し、収益を上げることが出来た。今後は継続して竹活用や、製品開発を進めるとともに、マルシェの持続的な取組・仕組みの検討が求められる。

◆ほほえみふくし部会

分野別目標：住民が支えあい、心やすらぐまちづくり

活動の柱：○高齢者が便利に移動できる
○医療が受けられる
○住民同士が助け合える
○健康づくりができる
○防災力を地域ごとに高める

評価平均点：3.6点

主な事業：・大戸町の福祉に関するアンケート（R2 実施、全世帯中約 43% が回答）
・闇川地区ボランティア輸送実証（R3～R4 実施、のべ 25 名の利用）
・大戸地域防災事業（R4、各地区 2 回ずつ計 14 回のワークショップ開催）

意見等：全世帯の約 43%から回答をいただいたアンケート調査で、取組の方向性を定めることができた。
それに基づき行った、闇川地区のボランティア輸送の実証では、住民ニーズや今後の地域の公共交通の在り方を検討することができ、地域防災事業では全地区の防災の取組を進めることができた。
今後は地域交通・防災事業の取組を進めて行くとともに、他の分野の取組の検討も進めて行くことが求められる。

◆すこやかちくりん教育部会

分野別目標：大戸の竹のようにしなやかですこやかな成長を育む学びのまちづくり

活動の柱：○他地域に誇れる魅力的な教育環境づくり
○生涯学習を活性化し、人材の育成をする
○住民の「横のつながり」づくり
○子育てしやすい環境づくり（住民同士の横の繋がりを作る）
○地域づくり人材の育成

評価平均点：3.2点

主な事業：・大戸小・中学校の小規模特認化の支援
・川柳大会（R3～R4、計 296 名の応募）
・児童園交流イベント

意見等：地域での検討や、生涯学習・交流イベント等を実施し、令和5年度からの大戸小・中学校の小規模特認校化を実現することができた。今後は小規模特認校の運営と合わせて、地域の特色ある教育環境づくりや、生涯学習・交流の取組の検討が求められる。

◆全部会共通

分野別目標：継続した地域づくり体制の構築

活動の柱：○鳥獣害対策の推進

○組織を円滑に運営し、強化していく

○地域づくりの計画を作る

評価平均点：4.0点

主な事業：・00T0 プロジェクト

・各種会議や活動のサポート

・地域づくりビジョンの進行管理

意見等：会津短大 00T0 プロジェクトとの連携による鳥獣害対策に取り組み、地域づくりビジョンを策定、進行管理を行い、NP0 法人化を進めることができた。今後は NP0 法人としての組織運営を行いながら、より地域が主体となった組織体制、運営方法の構築を目指す。また、継続的に活動していくため、会員確保の仕組みづくりの検討も求められる。

4. 第2次ビジョンの趣旨

(1) 第2次ビジョンの策定の考え方

第1次ビジョンの方向性を基本としながら、第1次ビジョンの事業評価や人口データ、地域情報シートから見える地域の状況の変化に加え、組織の法人化や地区社会福祉協議会の設立、大戸小・中学校の小規模特認校化といった変化に対応した内容を取り入れながら重点項目を設定し、第2次ビジョンの策定を行いました。

■人口データや地域情報シートから見える課題

人口減少や少子高齢化の進行、空き家の増加、担い手不足により地区の運営が困難になる可能性など

■第2次ビジョンで取り組んでいく項目

<新たな取組として検討するもの>

・空き家の利活用に関する取組

・NP0 法人化に伴う事務局の地域移行の推進と体制の強化

<今までの取組と関連して継続・発展させるもの>

・交流人口の増加に関する取組

・地域防災に関する取組

・組織の担い手の確保

・小規模特認校と連携した取組

<市や公的団体の事業との連携（継続・新規）>

・おおとチャンネル

- ・地域おこし協力隊
- ・集落支援員の導入検討
- ・地区社会福祉協議会としての地域福祉活動

(2) 第2次ビジョンの位置付け

この計画は、会津若松市自治基本条例の理念に基づき、大戸地区におけるまちづくりを行う上での基盤となるものであり、住民と地区が目標を共有し、協働して地域づくりを進めていくための基本指針となるものです。

5. 第2次ビジョンの期間

この計画は、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4ヶ年の期間とします。

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
市総合計画	会津若松市第7次総合計画						
大戸・地域づくり ビジョン	1次ビジョン(R2~4)			2次ビジョン(R5~8)			

※ポイント

市の総合計画と期間を合わせる。

事業構想サイクル(計画→実行→評価→改善)を行いやすい期間。

2年間を目標に中間評価を行い、事業構想サイクルを2回実施する。

6. 地域づくりのテーマ・基本目標・重点項目

(1) 地域づくりのテーマ

『ずっと住み続けたい！

しなやかにささえ合う“大戸だけ“の魅力あふれるまちづくり』

(2) 基本目標

自然環境・歴史・文化・人材・店舗など、地域の宝をフル活用し、様々な主体との連携・協働により、時代や環境の変化にしなやかに対応しながら、将来にわたって安心して住み続けられる魅力的な大戸町をつくります。

(3) 重点項目

継続した地域づくりを行なっていくため、第2次ビジョンの4年間で以下を重点項目として取り組んでいきます。

○地域防災力の向上

自主防災組織設立など各地区の取組を支援します。

○事務局体制の強化

専任スタッフを置くなど、組織の運営を円滑に行う体制づくりに取り組みます。

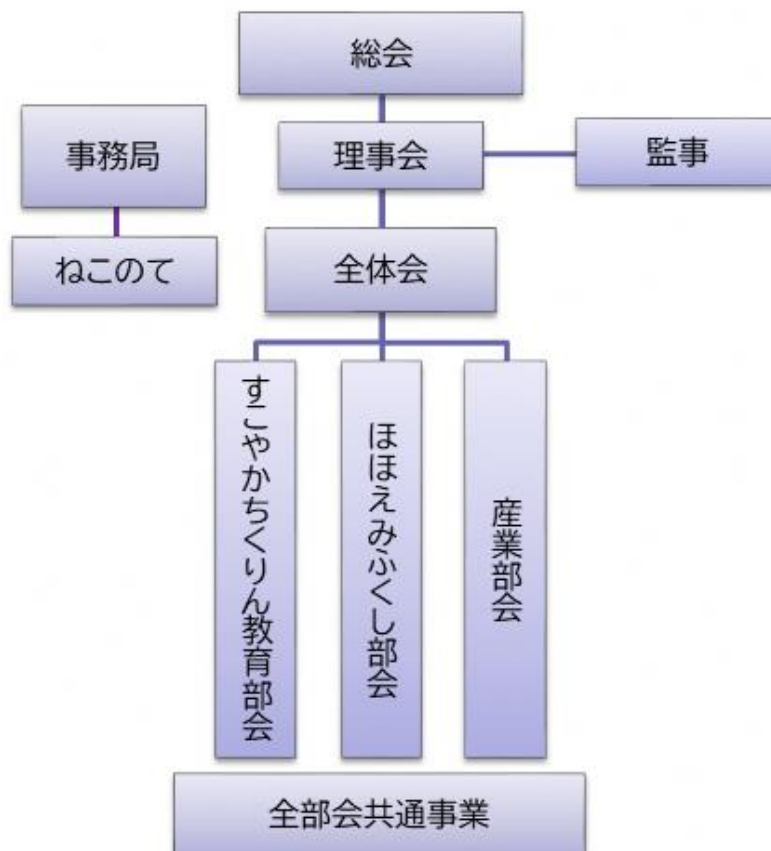
○自主財源の確保

自主的な事業運営ができるよう、様々な自主財源の確保に取り組んでいきます。

7. 組織体制

下記の組織体制で、分野ごとに地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

特定非営利活動法人 大戸まちづくり協議会 組織体制図
(令和5(2023)年4月～)



8. 分野別目標・活動の柱

◆産業部会

分野別目標：にぎわいがあり、かぐや姫に会えるまちづくり

活動の柱：○地域産業の活性化、地域住民のつながりづくり

- ・竹を活用した地域産品づくり
- ・新たな地域産品づくり
- ・地域産品の販売、働く場づくり

○交流人口づくり（自然資源・空き家等遊休施設の活用・文化歴史の掘り起こし）

- ・自然資源を活用した体験メニューづくり
- ・歴史、文化の掘り起こし

◆ほほえみふくし部会

分野別目標：住民が支えあい、心やすらぐまちづくり

活動の柱：○住民が便利に移動できる

- ・住民の交通利便性の充実

○医療が受けられる

- ・大戸町の医療環境の充実

○住民同士が助け合える

- ・地域内の助け合いの仕組みづくり

○健康づくりができる

- ・運動できる環境づくり

○防災力を地域ごとに高める

- ・防災意識の高揚と防災体制の整備

◆すこやかちくりん教育部会

分野別目標：大戸の竹のようにしなやかですこやかな成長を育む学びのまちづくり

活動の柱：○住民と連携した魅力ある教育環境づくり

- ・交流活動(行事参加)を通し、協力者を増やしていく

○住民・コミュニティスクールと連携し、特認校(学校)を支える

- ・特色ある教育プログラムの実践・検証

○生涯学習を活性化し、人材の育成をする

- ・公民館活動との連携

◎部会の枠を越えて協議会全体で取り組むもの

○鳥獣害対策の推進

・鳥獣害を減らす

○移住受入の推進

・移住しやすい環境づくり

○組織を円滑に運営し、強化していく

・事務局体制の強化

・地域づくりビジョンの進行管理

9. 活動領域・活動内容・スケジュール

第2次大戸・地域づくりビジョン(R5～R8) 実行計画								
部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	具体的な取組	取組の内容(誰が、誰と、どこで、いつまでに、どのように)			
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産業部会	にぎわいがあり、かぐや姫に会えるまちづくり	地域産業の活性化、地域住民のつながりづくり	竹を活用した地域産品づくり	・竹製品の作成・販売 ・竹炭作成	・竹製品(青竹踏み、キーホルダー、バターナイフ、スプーンなど)を作成し販売 ・竹炭づくり(年2回) ・会津短大と連携した竹製品づくり	・竹製品(青竹踏み、キーホルダー、バターナイフ、スプーンなど)を作成し販売 ・竹炭づくり(年2回) ・会津短大と連携した竹製品づくり	・竹製品(青竹踏み、キーホルダー、バターナイフ、スプーンなど)を作成し販売 ・竹炭づくり(年2回) ・会津短大と連携した竹製品づくり	・竹製品(青竹踏み、キーホルダー、バターナイフ、スプーンなど)を作成し販売 ・竹炭づくり(年2回) ・会津短大と連携した竹製品づくり
			新たな地域産品づくり	・ねこのてなどによる大戸ならではの新たな地域産品の開発・発信	・ハックルベリー染め物づくり ・メンマづくり	・ハックルベリー染め物づくり ・メンマづくり	・ハックルベリー染め物づくり ・メンマづくり	・ハックルベリー染め物づくり ・メンマづくり
			地域産品の販売、働く場づくり	・大戸マルシェの充実	・大戸マルシェの開催(年2回) ・地域産品の販売の方法の検討	・大戸マルシェの開催(年2回) ・地域産品の販売の方法の試行	・大戸マルシェの開催(年2回) ・地域産品の販売の方法の試行	・大戸マルシェの開催(年2回) ・地域産品の販売の方法の実装
		交流人口づくり(自然資源・空き家等遊休施設の活用・文化歴史の掘り起こし)	自然資源を活用した体験メニューづくり	・体験メニューの開発	・竹を活用したものづくり体験メニューの検討 ・交流人口づくりにつながるイベントの検討	・竹を活用したものづくり体験メニューの試行 ・交流人口づくりにつながるイベントの試行	・竹を活用したものづくり体験メニューの試行 ・交流人口づくりにつながるイベントの試行	・竹を活用したものづくり体験メニューの実装 ・交流人口づくりにつながるイベントの実装
			歴史、文化の掘り起こし	・歴史遺跡の散歩道、大戸釜の再興 ・歴史マップづくり	・地域の歴史遺跡の活用方法の検討 ・歴史マップづくり	・地域の歴史遺跡の活用方法の試行 ・歴史マップづくり	・地域の歴史遺跡の活用方法の試行 ・歴史マップづくり	・地域の歴史遺跡の活用方法の実装 ・歴史マップ完成

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	具体的な取組	取組の内容(誰が、誰と、どこで、いつまでに、どのように)			
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ほほえみあかし部会	住民が支えあい、心やすらぐまちづくり	住民が便利に移動できる	住民の交通利便性の充実	・大戸地区に合わせた公共交通の仕組みの検討と構築 ・公共交通空白地の解消に向けた取組の検討と仕組みの構築	・大戸地区全体の公共交通の在り方の検討 ・公共交通空白地の解消に向けた仕組みを検討し、実証を開始	・大戸地区全体の公共交通の実証事業 ・公共交通空白地の解消に向けた実証を継続	・大戸地区全体の公共交通の実証事業 ・公共交通空白地の解消に向けた実証を継続	・大戸地区の交通事業の実装
		医療が受けられる	大戸町の医療環境の充実	・薬の配達制度の検討 ・在宅医療サービスの充実に向けた検討 ・大戸地区の保険・医療・福祉システムの構築	・大戸地区の保険・医療・福祉システムの構築に向けた検討と実証	・大戸地区の保険・医療・福祉システムの構築に向けた検討と実証	・大戸地区の保険・医療・福祉システムの構築に向けた検討と実証	・大戸地区の保険・医療・福祉システムの構築の実装
		住民同士が助け合える	地域内の助け合いの仕組みづくり	・ボランティア団体や制度の立ち上げ ・除雪ボランティアの充実 ・サロン作り ・大戸の御用聞きサービスの構築	・大戸の御用聞きサービスの検討と実証	・大戸の御用聞きサービスの実装	・大戸の御用聞きサービスの実装	・大戸の御用聞きサービスの実装
		健康づくりができる	運動できる環境づくり	・運動教室の開催 ・ラジオ体操の習慣化に向けた仕組みの構築 ・ウォーキングの習慣化に向けた仕組みの構築 ・交流の場づくり	・運動教室の開催 ・ラジオ体操の習慣化に向けた仕組みの検討と実証 ・ウォーキングの習慣化に向けた仕組みの検討と実証 ・交流の場の仕組みの検討と実証	・運動教室の開催 ・ラジオ体操の習慣化に向けた仕組みの実装 ・ウォーキングの習慣化に向けた仕組みの実装 ・交流の場の仕組みの実装	・運動教室の開催 ・ラジオ体操の習慣化に向けた仕組みの実装 ・ウォーキングの習慣化に向けた仕組みの実装 ・交流の場の仕組みの実装	・運動教室の開催 ・ラジオ体操の習慣化に向けた仕組みの実装 ・ウォーキングの習慣化に向けた仕組みの実装 ・交流の場の仕組みの実装
		防災力を地域ごとに高める	防災意識の高揚と防災体制の整備	・合同避難訓練の実施 ・自主防災組織の構築	・各地区への自主防災組織づくり ・合同避難訓練の実施	・合同避難訓練の実施	・合同避難訓練の実施	・合同避難訓練の実施

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	具体的な取組 ★優先項目	取組の内容(誰が、誰と、どこで、いつまでに、どのように)			
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
すこやかちくりん教育部会		住民と連携した魅力ある教育環境づくり	【住民活動領域】 交流活動(行事参加)を通じ、協力者を増やしていく	①特色ある教育プログラムを(既存のイベントの延長線で)考える。 ②地域学校協働活動への参加・人集め協力。 ③児童園イベントの企画・運営・参加 ④勝多校の保生活動(地域の校に)する ☆ら保護者との意見交換(参観日等)。放課後子どもクラブのニーズ調査・保護者が集まるイベント案等の意見交換。	①～②は参加・協力。 ③に関しては昨年度に取り組んだイベント内容を研磨して、より充実した内容にする。 ④は教育委員会にまずは要望書を提出する。→返答次第で補助金を検討。 花見の実施(自由参加型)。校見守り隊員(仮称)の配置。 ⑤を実施する。 アンケートの実施 参観日の確認・時期調整 時間調整・ワークショップ形式開催の検討準備 放課後子ども教室の拡充実証実験開始(例:2学期のみ。公民館開催分に加えて教育部会でも運営実施等)	①～③事業の継続。 ④の活動をスタート。補助金が採択できるか次第ではあるが、できない場合は保全についてできることを継続していく。 ⑤を通じ、放課後子ども教室の拡充実証実験の継続、実証期間の拡大。 イベント案等の実証実験。	①～③事業の継続、拡大。 ④・⑤の活動の役割分担を確立する 1)まちづくり・各種団体等の組織連携 2)まちづくり内部での役割構成 3)上記役割の実施・検証し、町全体の行事として関わる体制を整える。	
	大戸の竹のように、しなやかな成長を育む学びのまちづくり	住民・コミュニティスクールと連携し、特認校(学校)を支える	【住民活動領域】 【学校教育領域】 上記取組の①、特色ある教育プログラムの実践・検証	①地域住民と防災訓練を行う ②大戸の歴史講座を取り入れる。(参観で保護者も参加。学習発表会で発表。) ☆③コミュニティスクールで学校側のニーズをまとめる。(授業を助けてくれる人を集める仕組み) ④他地区から通う児童へのお祝い金(入学時のみ)	①避難所開設訓練を中心に、段ボールベッド設置等をしていく。 ※良品計画との連携 ②参観か学習発表会か学校のスケジュールに合わせ検討していく。 ③年間イベントを見える化し、各コーディネーターと教育部会で周知広報し参加を募る。 年度末などの程度の助けになっているのか学校側・住民側との評価を実施する。 ④社協の補助金等の使用。実施・評価。	①令和4年度の反省を元に、防災食の実施を含め活動を広げることが検討していく。 ②歴史講座の継続実施。担い手を増やす活動も視野に入れる。 大戸歴史コーディネーターの作成。 ③実施結果をもとに、人材の募集・学校側のニーズを含め検討していく。学校を支える体制を整備する。	①②継続実施。 ③整備した組織体制の実施。	町全体の行事として、①各種団体組織と協力体制が整っている②その仲間で役割を分担して取り組んでいる。
		生涯学習を活性化し、人材の育成をする	【住民活動領域】 【学校教育領域】 【公民館活動領域】 公民館活動との連携 ※公民館は、まちづくり協議会の意見を取り入れ講座を検討していく。	①大戸の魅力川柳コンテスト ②大戸の魅力フォトコンテスト(ポストカード化し販売) ③講座を整理し、学校等教育活動の補完をしていく。	①～②公民館と 1)周知広報・参加 2)展示作業の協力 3)入賞作品の選定協力 4)大戸チャンネルを使用し投票実施 ③令和5年度4月より新体制で講座開設、参加・協力をしていく。	①～②:同左 ③令和5年度の実施をもとに、講座の再編成。	同左	

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	具体的な取組	取組の内容(誰が、誰と、どこで、いつまでに、どのように)			
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全部会共通		鳥獣害対策の推進	鳥獣害を減らす	・電柵マップの作成などの情報発信 ・会津大学や会津短大との連携	・電柵マップづくりの検討 ・対策の検討・情報発信	・電柵マップづくり ・対策の検討・情報発信	・電柵マップの完成 ・対策の検討・情報発信	・電柵マップの効果検証 ・対策の検討・情報発信
		移住受入の推進	移住しやすい環境づくり	・移住しやすい環境づくりのため関係機関との連携を図る	・市地域づくり課などと連携し移住しやすい環境づくりを検討	・市地域づくり課などと連携し移住しやすい環境づくりを検討	・市地域づくり課などと連携し移住しやすい環境づくりを検討	・市地域づくり課などと連携し移住しやすい環境づくりを検討
		組織を円滑に運営し、強化していく	・組織運営事務 ・地域づくりビジョンの進行管理	・事務局員など活動の担い手の確保 ・自主財源の確保 ・地域づくりビジョンの評価・振り返りや検討を行う	・会員確保の仕組みづくりの検討 ・事務局体制の強化の検討 ・自主財源の確保の検討 ・評価・振り返り	・会員確保の仕組みづくりの試行 ・事務局体制の強化の検討 ・自主財源の確保の検討 ・評価・振り返り	・会員確保の仕組みづくりの試行 ・事務局体制の強化の検討 ・自主財源の確保の検討 ・評価・振り返り	・会員確保の仕組みづくりの実装 ・事務局体制の強化の検討 ・自主財源の確保の検討 ・評価・振り返り ・第2次ビジョン全体の評価・振り返り ・第3次ビジョンの策定